

# 正確な情報確認と迅速な出動指令・情報共有 を実現

## 通報から出動までの一連の流れ

### 通報受付

119番通報を受信すると、指令台の画面に通報者の住所情報や発信地付近の地図が表示されます。



### 災害種別・地点特定

通報内容から火災・救急などの災害種別と、住所や付近目標物といった情報から災害地点を特定します。



### 出動隊編成

出向中の車両を含め、災害種別・規模に応じた最適な出動隊を自動で編成します。

計画名	建物火災内町車地区	車両名	出	時刻	距離	時刻	車両名	出	
第1	東3P	3	兼	0.05km	0'03"	東3P	3	兼	
		東1T	1	兼	0.05km	0'03"	東1T	1	兼
		東消防	7	兼	0.05km	0'03"	東消防	7	兼
		津田P	2.3	兼	3.72km	2'50"	津田P	2.3	兼
		勝占P	2.2	兼	4.64km	3'39"	勝占P	2.2	兼
		清東分団	7.1	兼	0.97km	1'09"	清東分団	7.1	兼
		清北分団	7.0	兼	1.51km	1'48"	清北分団	7.0	兼
		局周車1	6.6	兼	0.04km	0'03"	局周車1	6.6	兼
		局周車2					局周車2		
		局周車3					局周車3		

### 出動指令

音声合成装置により消防署内に出動指令を行うとともに、詳細な指令情報を指令書にて伝達します。



### 出動

出動隊は、車両運用端末により最短で現場到着可能なルートを確認し、いち早く災害現場に急行します。



### 現場活動

消防指令センターと情報共有を行い、的確な現場指揮のもと、現場活動を実施します。



## 指令装置 119番通報の受付から出動・活動支援まで指令システムの中核となる装置です。指令管制業務に関わる全ての有線、無線を取り扱うとともに、各装置を連動させて運用を行います。

### 統合型位置情報システム

通報者が動揺していたり、自分の居場所がわからないなど、正確な位置情報が得られない場合でも、通報地点を素早く特定できます。これにより災害地点の確認がスムーズに行え、より迅速な現場への出動が可能となります。



### 多目的情報表示機能

車両一覧や外部地図連携端末画面、NET119、Live119の画面など、必要な支援情報を状況に応じて表示させます。



#### 地図ディスプレイ



#### 多目的ディスプレイ



#### 自動出動ディスプレイ



#### 支援情報ディスプレイ



### 自動出動指定装置

災害の種別や場所、規模等の情報から、災害現場に近い最適な車両を自動的に選別、迅速な出動指令を行います。

計画名	建物火災内町車地区	車両名	出	時刻	距離	時刻	車両名	出	
第1	東3P	3	兼	0.05km	0'03"	東3P	3	兼	
		東1T	1	兼	0.05km	0'03"	東1T	1	兼
		東消防	7	兼	0.05km	0'03"	東消防	7	兼
		津田P	2.3	兼	3.72km	2'50"	津田P	2.3	兼
		勝占P	2.2	兼	4.64km	3'39"	勝占P	2.2	兼
		清東分団	7.1	兼	0.97km	1'09"	清東分団	7.1	兼
		清北分団	7.0	兼	1.51km	1'48"	清北分団	7.0	兼
		局周車1	6.6	兼	0.04km	0'03"	局周車1	6.6	兼
		局周車2					局周車2		
		局周車3					局周車3		

### 手書きメモ機能

119番通報で聴取した現場状況や傷病者情報などの詳細内容を画面にメモ書きして、そのまま画像として出動隊車両へ送信できます。



## 表示盤 消防指令センターの前面に配置した表示盤に、車両運用状況や気象・警報注意情報、地図情報などを表示します。消防指令センター内で情報共有を図りながら、災害状況に応じた指揮活動をはじめとした現場活動全般の支援を行います。

### 車両運用表示盤

指令装置や車両運用端末装置と連動して、各車両の動態情報を一覧表示します。



### 多目的情報表示盤

各車両の状況など、指令業務に必要な情報を、状況に応じて表示させることが可能です。



### 支援情報表示盤

管内の119番着信状況や気象情報、警報・注意報といった各種支援情報を表示します。



## 本署表示盤 各消防署に設置され、管内の事案情報や車両動態状況などが表示できます。大規模災害時にも変化する管内状況を確認しながら適切な意思決定、災害対応を行います。



## 消防救急デジタル無線 大規模災害時、電話やインターネット網の通信手段が途絶した状況下でも確実につながる強固なデジタル無線網が活躍します。暗号化して通信を行うため、第三者による傍受を防ぎ、個人情報などをより安全な環境で通信することが可能です。



消防指令センター ↔ 災害現場

第三者 (傍受) は防がれます。